

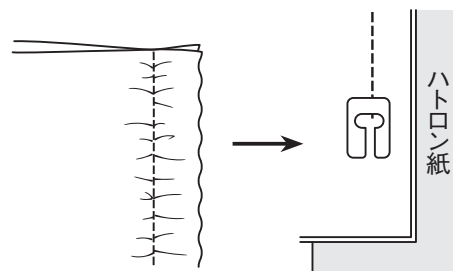
山崎ミシンでより美しく縫うためのポイント

1、布地（材料）に合ったミシン針、ミシン糸を使う。

- ・うす地 9号 90番
} 11号 60番
- ・厚地 14号 60番
(ステッチ) 30番
- ・ニット ジャージー針 レジロンミシン糸
- ・革 レザー針

2、うすい布地は紙を重ねて縫う。

- ・裏地、チュール、ローン、ボイルなど、縫うとミシン目の横に小ジワができる布は、布の下にハترون紙（製図の残りで良い）などを敷き一緒に縫う。縫い終わったあと、紙を破り仕上げる。



3、針目の大きさを調整して縫う。

- ・ステッチをいかしたデザイン（革のフリンジバッグなど）は、針目を直線縫いダイヤルの真ん中に設定する。
- ・ギャザー縫い …………… 上糸調子を強くし、針目を大きくセット（ダイヤルの目盛りを最大に設定する）。2本平行にミシンをかける。上糸を引きギャザーを寄せる。
- ・しつけ縫い …………… 針目を大きくして（ダイヤルの目盛りを最大に設定する）縫い合わせる。すぐにほどけるので、生地を仮に合わせたいときなどに使う

4、合皮、革、ビニールなどの素材を縫う。

- ・シリコン剤を使う。材料によりシミができるときは、ハترون紙や薄手のトレーシングペーパーなどをあて、縫う。
- ・革やビニール用のすべりの良い押さえ金を選ぶ。

●ミシン初心者のための本。

かわいきみ子著

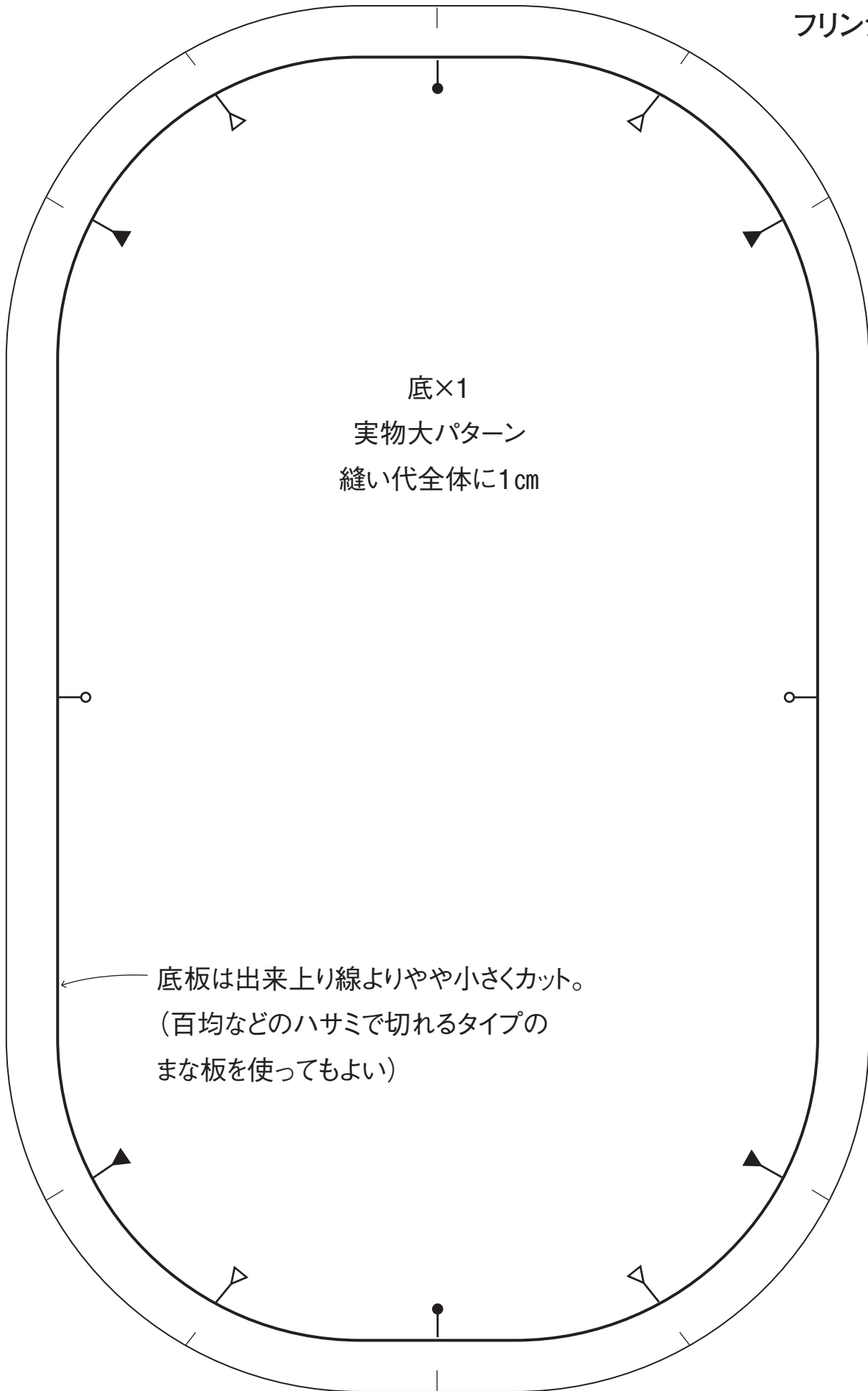
『イチバン親切なソーイングの教科書』（新星出版）。

ミシン縫いの基礎技術を詳説しています。上手に縫う、きれいに仕上げるコツも掲載。オールカラーの豊富な手順写真でわかりやすく解説。

<http://amzn.asia/d/dSITvug>



フリンジバッグ

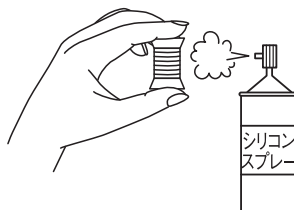
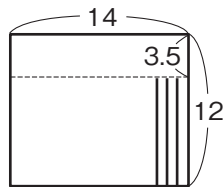
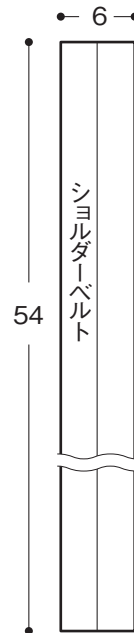
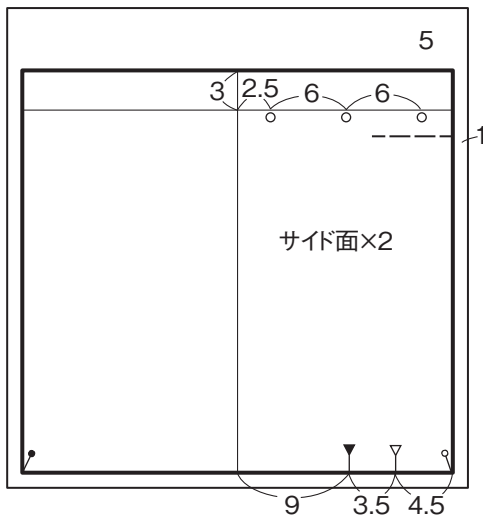


底×1
実物大パターン
縫い代全体に1cm

← 底板は出来上り線よりやや小さくカット。
(百均などのハサミで切れるタイプの
まな板を使ってもよい)

*材料

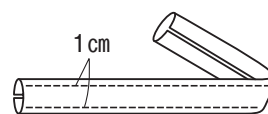
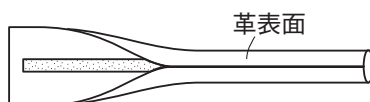
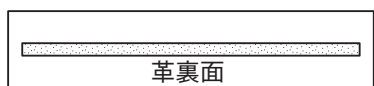
- ・ 革
- ・ ミシン針革用 (レザー) 針 14 号
- ・ 上糸ステッチ用 30 番
下糸、同色の 60 番
- ・ シリコン剤スプレーまたは液体
- ・ 両面テープ (工作用) 5 mm
- ・ 革用ボンド
- ・ 穴あけポンチ 6 mm
- ・ 木づち



*裁断

- ・ 底 (×1) サイド面 (×2) はそれぞれ縫い代をつけて
- ・ ショルダーベルト (×1) フリンジ (×2) は寸法どおりロータリーカッターやハサミで切る。
- ・ 合印を入れておく
 - ・ ひも通し穴をあけておく
- ・ 30番ミシン糸にシリコン剤を吹きつけておく
- ・ 針目は2cmに6目くらい

A ショルダーベルトを作る

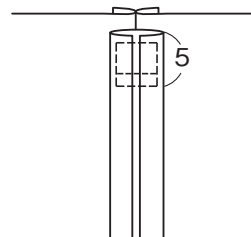
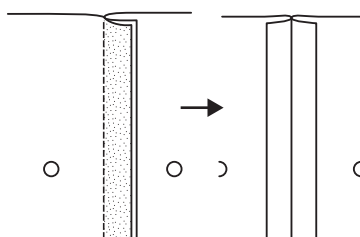


①裏面の中央に両面テープをはる

②両側を折り、接着する

③表からステッチをかける

B バッグのサイド面を作り、ショルダーベルトをつける

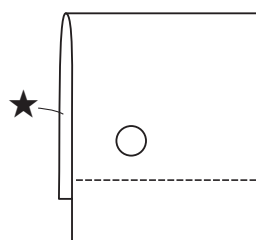
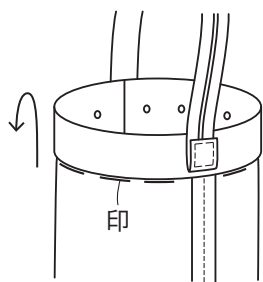


①バッグの口から10cmのところに印をつけておく。2枚を中表に合わせて両脇を縫う

②縫い代にボンドをうすく塗り、割って木づちで軽くたたく

③脇縫い目の表側にAのショルダーベルトを図のように縫いつける。もう片方も同様

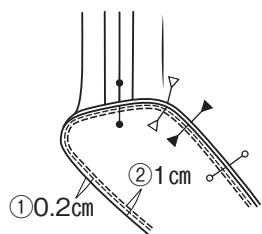
C バッグの口を仕上げ、ひも通し穴をあける



①ひも通し穴と穴の間に両面テープをはりB-1でつけた印のところにバッグの端を合わせ、木づちで軽くたたき、ステッチをかける

②裁断したあと、あけた穴のところでもう一度下の革(★)にポンチをあて、穴をあける

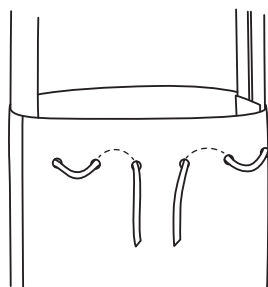
D サイド面と底の合印を合わせて縫う



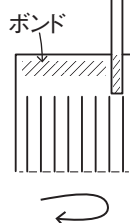
①端から0.2cmのところを縫う

②端から1cmのところを縫う

E ひもを作りフリンジをつける



①ひもにボンドをつけ、フリンジの端に置き、巻いていく



②千枚通しで穴を4個あけ(下まで通す)30番ミシン糸2本どりで縫い留める

